

平成 29 年 3 月 30 日

県 土 整 備 部

北極海航路に関する共同研究成果についての知事コメント

本共同研究は、「北東アジアにおけるグローバル物流拠点化」を視野に入れた青森県ロジスティクス戦略の一環として、北極海航路という新たな視点で津軽海峡の現状を把握し、将来の可能性を検討するため、平成 26 年度から実施しているものです。

平成 28 年度は、北極海航路を航行した船舶のうち、津軽海峡を通過した船舶を少なくとも 16 航行確認することができました。このうち 5 航行については、昨年度までは確認されなかった北極海航路ロシア側を完全に横断し津軽海峡を通航する船舶であることも確認しています。これは最新の定量データが、津軽海峡の可能性を更に裏付けたということができると考えています。

津軽海峡は北米と東アジアを結ぶコンテナ航路の 3 割が集中するなど、海上物流のチョークポイント(※)となっており、これに今回の共同研究で明らかとなった北極海航路(ロシア側)完全横断船舶が津軽海峡を通過しているという事実を加えると、このエリアが、いかに地政学的に重要なエリアであるかを読み取ることができます。

今後も継続的なデータの分析と蓄積を進め、津軽海峡が本県にとって、そして国家戦略上も重要なエリアであることを国内外に発信するとともに、津軽海峡の持つ可能性を一步一步、現実に変えていきたいと考えております。

※ 地政学上、海上航路において戦略的に重要となる場所を示す用語。